

○ 委員長報告

12月定例会本会議で報告された観光スポーツ文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

令和6年12月定例会

観光スポーツ文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、日本スポーツマスターズ2025愛媛大会についてであります。

このことについて一部の委員から、来年9月に開催される大会の準備や機運醸成の取組状況はどうか。また、課題は生じているかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本年5月に実行委員会を設立し、企画運営委員会等の開催のほか、長崎大会視察を経て、実務者レベルの準備に取り掛かった。

また、本年9月に開催したキックオフイベントで、本県ゆかりのアスリートを大会アンバサダーに任命するとともに、市町や競技団体にのぼり旗を贈呈し、県全体での広報活動をスタートさせたほか、親子スポーツ教室では300人を超える県民にスポーツを楽しんでもらうなど、機運醸成に努めているところである。競技団体や選手から伺っている運営面に関する要望については、関係機関と連携し対応を検討していきたい旨の答弁がありました。

第2点は、教員のICT活用指導力についてであります。

このことについて一部の委員から、国が公表した調査において、本県教員のICT活用指導力が3年連続全国1位となったが、学校現場でどう生かされているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、小中学校では、1人1台端末の運用により、児童生徒の学習状況に応じたドリル教材や、各自の意見を可視化し、議論の活性化を図る機能を活用するほか、資料の作成・発表に活用するなど、学校現場のICTは、教員が活用する段階から、児童生徒が場面に応じて、主体的に活用する段階へと着実に進んでいる。

今年度は、授業改善のモデルとなる授業を公開し、各学校において、ICTがより効果的に活用されるよう指導・助言するなど、一層の活用促進を図っており、今後も、アナログとデジタルのベストミックスによる教育活動を推進し、学校教育の質の保証・向上に努めていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、闇バイトに対する各種対策等についてであります。

このことについて一部の委員から、県内の闇バイトに係る事件の発生状況はどうか。また、どのような対策を講じているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県内において首都圏で発生しているようないわゆる闇バイトによる強盗等の凶悪事件は把握していないが、本年4月から11月末までに匿名・流動型犯罪グループによる詐欺や窃盗などで13人を検挙しており、その内、闇バイトに関与した者を7人把握している。

県警では、「被害に遭わせない」、「犯行に加担させない」ための各種対策を推進しており、引き続き、闇バイトの背後に存在する匿名・流動型犯罪グループの実態解明を進めるとともに、これまで以上に関係部門が情報共有し、警察の総合力を発揮した戦略的な取締りにより、県民の安全と安心を確保していきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 松山空港国際線の利用促進
- ・ 令和10年度開催を目指す国民文化祭
- ・ 大学入学共通テストへの対応
- ・ 不登校児童生徒の現状と対応
- ・ マイナンバーカードと運転免許証の一体化
- ・ 自転車の交通取り締まり状況

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。